

韓国の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザが発生しました！

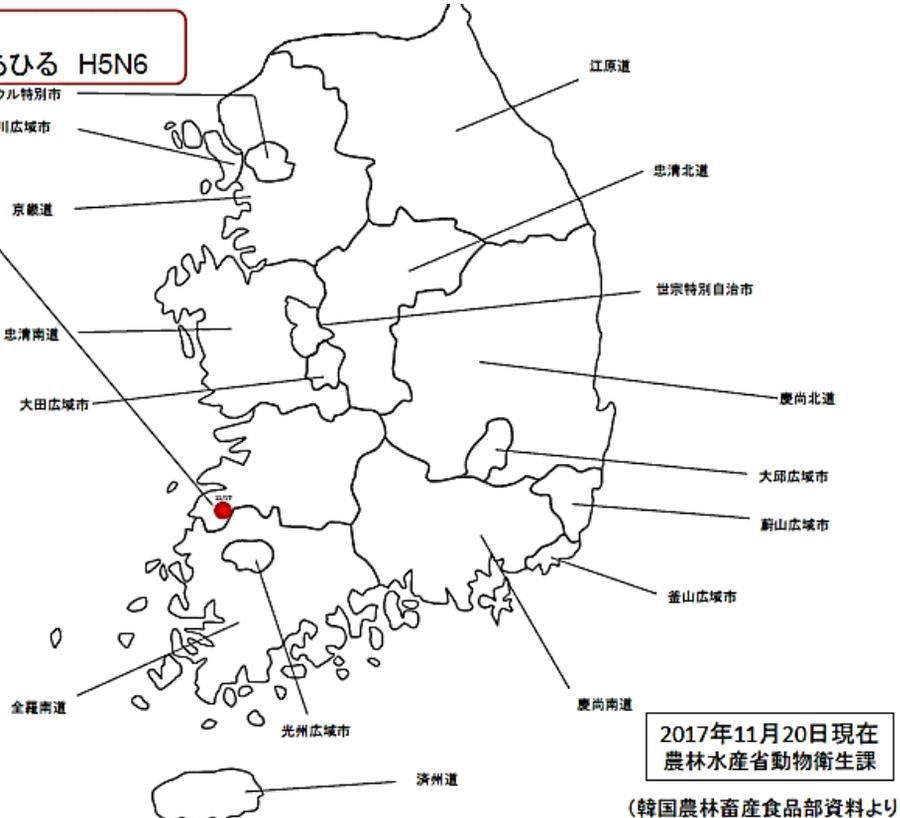
韓国の家きん農場（肉用あひる）で高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)が発生しました。

島根県の死亡野鳥からも同型の遺伝子が連続して検出されるなど、国内農場での発生リスクが高まっています。

厳戒態勢で発生予防対策を徹底してください！

全羅北道(1件)
11月17日※ 高敞(コチャン)郡 あひる H5N6
※ 日は検体の採取日

(概要)
 ・肉用あひる飼養農場(飼養羽数12,300羽)
 ・11月18日:出荷前検査のPCR検査により、H5亜型の鳥インフルエンザウイルスを検出。殺処分を開始するとともに、移動制限を設定。
 ・11月19日:検出されたウイルスは、H5N6亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスであることを確認。



2017年11月20日現在
農林水産省動物衛生課
(韓国農林畜産食品部資料より)

- ◆ 渡り鳥は南丹地域へも多数飛来しています。
- ◆ ウイルスは、感染した渡り鳥の糞で水が汚染され、接触した野鳥や野生動物を介して鶏舎内へ侵入すると考えられます。

- 野生動物対策徹底！
- 鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- 対策の点検改善！
- 毎日の健康観察！
- 早期発見、早期通報！